

第3回 古川西部地区通学部会 報告書

開催月日	令和4年3月14日(月) 午後7時00分～午後8時50分
開催場所	志田地区公民館 ホール
出席者	●古川西部地区通学部会員 14名 志田小学校:佐藤秀俊, 菅井真弓, 高橋倫正 西古川小学校:大槻明, 小定理沙, 高橋恵美 東大崎小学校:川村美穂, 星礼美, 門脇かえで 高倉小学校:関本恵子, 高橋克宏, 高橋元宏 古川西中学校:島田眞吾, 高橋恵子, 阿部仁美^{欠席} ●事務局 7名 教育部参事:宮野学 【学校教育課】課長:木村博敏, 主幹兼係長:西塚文 【教育総務課】課長補佐:久本裕, 主幹兼係長:鈴木健, 主査:佐藤章 学校教育専門指導員:玉水透, 主事:平山泰揮^{欠席}
概 要	1 開会 2 挨拶 3 協議事項 ①スクールバス運行ルート(乗降場所)について ⇒前回, 学校単位で協議・検討した停留所候補地を結んだ「事務局ルート案」を示した。 ⇒上記ルートを実走した映像(各ルートを編集したビデオ)で説明した。途中, 停留所案や道幅等について実走の感想を交えて説明し, その内容について部会員全員で共有した。 ⇒全てのルートを説明後, 各小学校毎に, 映像及び説明を見て具体的なルートについて検討していただいた。 ⇒会場中央に設置した拡大航空写真を使って, 話し合いをした結果について共有し, 一次ルート案について検討した。 ⇒今年度案として, 次年度, 更に検討していくことを確認した。 ②第2回の話し合いで出された意見への回答並びにお願いについて ⇒今回示したルート案はあくまで案であり, 今後も部会員の皆さんと共にルートを作成していくこと。併せて, 「学童」や「乗車人数」等によって, バスの大きさやルート等に変更が生じる可能性があること。 ⇒除雪については, PTAの皆さんや地域の方々のご協力をお願いしたい。(現在, 統合校のPTA組織について検討いただいている) ⇒雨, 風, 雪を凌ぐための停留所(小屋)の設置は, 他地域にも設置されていないことから, 西部地区でも設置は考えていない。

⇒兄弟がいる場合、「下の子は乗れるが上の子は乗れない」ということが起きるが、「ルールがあつてのこと。ルールを守ることの大切
⇒「見まもりの人は乗らないか」については、先日の準備委員会でも、「上学年の子どもたちが、下学年の子ども達の面倒を見るなどしている。」というご意見を頂いたことを紹介し、西部地区でも、尾のような体験を通して育むべき資質、「思いやり」等を育てることも重要であると考えている。

③その他

⇒「高学年の自転車通学」については、これも先日の準備委員会でも話題になったが、「スクールバスの受益者負担」も話も出ており、高学年の自転車通学も含めて、今後、通学部会でも検討していく。

4 閉会

第4回 古川西部地区通学部会 報告書

開催月日	令和4年6月2日(木) 午後7時00分～午後8時15分
開催場所	志田地区公民館 ホール
出席者	●古川西部地区通学部会員 14名 志田小学校:佐藤秀俊, 菅井真弓, 高橋倫正 西古川小学校:大槻明, 大友邦子, 高橋恵美 東大崎小学校:川村美穂, 星礼美, 門脇かえで 高倉小学校:関本恵子, 高橋克宏^{欠席}, 高橋元宏 古川西中学校:島田眞吾, 野田淑生, 阿部仁美 ●事務局 8名 【学校教育課】課長:大場宏昭, 主幹兼係長:西塚文^{欠席} 主査:大場卓 【教育総務課】課長:小野寺晴紀, 課長補佐:久本裕, 係長:鈴木健,主幹:佐藤章, 主事:平山泰揮^{欠席}, 学校教育専門指導員:玉水透
概 要	1 開会 2 挨拶 3 部会員紹介 4 部会長選出 部会長として古川西中学校の島田眞吾教諭が選任。 5 協議事項 (1)スクールバス運行ルート(乗降場所)について 【事務局説明概要】 資料をもとに事務局より主に以下の点について説明。スクールバス乗車基準距離, ルート及び停留所, 帰りのルートの考え方の3点について協議をお願いした。 ・生徒指導教諭及び西中学区校長会において協議を行い, 統合校の自転車通学が5年生から可として決定されたこと。 ・学校統合におけるスクールバス運行基準(小1～小3:片道2km, 小4～小6:片道4km, 中学生:6km)をベースとして, 上記自転車通学や以前から要望のあった「小学生の兄弟で下の子も上の子も乗れるように」といった部分, 中学校の冬バス等を考慮し以下の2つの運行基準案を作成したこと。

案① 小1～小4:片道2km, 小5・小6:片道4km, 中学生:6km
冬バス(小学生:2km, 中学生:3km)

案② 小学生:2km, 中学生:3km(通年)

・前回会議で要検討となった東大崎小学区の向三丁目, 成田に対応したルート案を作成したこと

・帰りのルートについては, ルート名の小学校区に対応した学童を経由(基本1便)し, 以下のとおり学年ごとの帰宅時間を考慮し3便で対応することで考えていること。

・原則として, 子どもたちが混乱しないよう朝に乗ってきたバスに帰りも乗ることになること。

【乗車対象イメージ】

1便:1年生～4年生

2便:5・6年生及び部活のない7年生～9年生

3便:部活終わりの7年生～9年生

【協議状況】(○:部会員, ⇒:事務局)

◆島田部会長(西中)

○それでは協議を行う。事務局の説明を踏まえ, まずはスクールバスの運行基準について皆さんからご意見をいただきたい。

◇川村部会員(東大崎小)

○当校の場合, 学校近辺に居住している家庭が多く, 通学距離が3km(片道)程度の子供が多い。基準案①だと高学年が乗れないということになるので, できれば基準案②でお願いしたい。

◇菅井部会員(志田小)

○志田地区も基準案②でお願いしたい。

◇高橋部会員(志田小)

○西古川地区も行政区の平均距離が 2.1 km, 2.4 km, 2.7 km, 2.5 km, というように2kmというところがキーワードとなっているので, 小学生2kmというところで基準案②でお願いしたい。

◇高橋部会員(高倉小)

○高倉地区も基準案②でお願いしたい。

◆島田部会長(西中)

○すべての地区(小学校区)で基準案②ということなので、スクールバスの運行基準については、通学部会として全会一致で基準案②ということで決定する。

○続いて2点目のルート・停留所について協議を行う。実際問題として、通学調査の結果がでないといけないという部分もあるが、皆さんご意見を願います。なお、人数の多いルートについてはバスの台数を増やし対応する提案という理解でよいと思う。

◇菅井部会員(志田小)

○志田地区については、お願いしたルート(停留所)が含まれているのでこの案でお願いしたいと思う。

◆島田部会長(西中)

○その他ご意見はないか。東大崎が前回のルート案よりきめ細かいルート案になっていると思うがどうか。

◇星部会員(東大崎小)

○東大崎地区は、前回検討をお願いした部分が入っているので、今回の案でお願いしたい。

◆島田部会長(西中)

○高倉地区については、前回、中新田を経由するルートを考えていたと思うがいかがか。

◇高橋部会員(高倉小)

○当初は学童専用のバスというのを考えていたが、朝のバスに帰りも乗るということになるのであれば、今回のルート案でよいと考える。

◆島田部会長(西中)

○ルートについては現在8ルートの案となっている。通学部会としてこのルート案として決定してよろしいか。

(部会員了解)

○それでは3点目となる帰りのルートについて協議を行う。先ほど高橋部会員の話にも出たが、原則、朝に乗ったバスに帰りも乗るということ。そして帰りのバスは学童を経由すること。帰りの便数としては3便で1～4年生が1便、5・6年生と部会のない7～9年生が2便、部活帰りの7～9年生又は何かしらの事情がある児童生徒が3便というイメージで考えているということ。これを基本として考えているということだが、皆さんからご意見をいただ

きたい。

○皆さんの顔が見えるが、原案のとおりということで皆さんよろしいか。

(部会員了解)

○それでは原案のとおり決定とする。

(2)「通学調査票」について

【事務局説明概要】

- ・通学調査票(案)のスクールバス運行基準については、先程の協議結果(小学生2km, 中学生3km)に応じて修正する。
- ・バスのサイズや台数を算定するために、停留所及びルートの乗車人数の実数を把握したい。停留所及びルートはあくまで「暫定」。
- ・行政区の平均距離がスクールバスの運行基準に満たず、スクールバス利用対象外の行政区に住んでいるが、個人としてはスクールバスの運行基準以上の通学距離があるというような場合は、通学調査票の「特別な事情」の欄に記入いただきたい。
- ・調査の実施時期は、6月7日～6月20日としたい。
- ・バスのサイズや台数及び予算に関わる重要な調査。2km・3kmはなんとか実現可能という状況から、バスに乘せるため通学距離を多く見込むようなことの無いようにお願いしたい。

【協議状況】(○:部会員, ⇒:事務局)

◆島田部会長(西中)

○事務局の説明に対して質問等あればお願いしたい。

◇部会員

○学校側は回収するだけで、集計等の必要はないということでよい。

⇒当初は、部会員さんが作業を行った方が、実態がよくわかるのではないかと考えていたが、負担になると思うので回収のみお願いする。

◇川村部会員(東大崎小)

○本校は児童数が80名。通学調査の質問が学校に寄せられると思う。人数の関係でバスが2台になったり、2台とも同じルートを走るのがかなど。バス停やルートは変更になる可能性があるというこ

とで説明してよいか。

⇒調査を行い実数を把握しないと最終的にどうなるかお示しできないが、バスが複数台になった場合は、停留所でバスを分けることも考えられる。複数台同じルートを走らせることは想定していない。子どもたちも迷うと思う。問い合わせについては、一旦学校で受けていただいて、学校から事務局へつないでいただきたい。

⇒補足になるが、通学距離を多く見込んだ場合に想定されることとして、基準に満たない方で、より遠い方よりも近い方がスクールバスに乗るといようなことがある。また、想定よりも人数が増えてバスの台数も増えて、結果2km, 3kmの基準ではコスト的に対応できなくなること考えられる。そのため保護者の皆様には正直な距離で回答するよう部会員の皆様からも説明をお願いしたい。

◆島田部会長(西中)

○学校に問い合わせが来るのと同時に、保護者の間でも話題になると思う。部会員の皆さんの印象として、この2km, 3kmという提案をどのように受け止めているか率直にお話いただきたい。個人的にはこの地域の出身者として最大限の配慮をいただいたと強く感じている。

◇菅井部会員(志田小)

○今回、とても考えていただいて、すごく配慮していただいた案だと感じている。ただ、それを保護者の方に伝える機会がない。授業参観の時などに、「通学部会です」ということで内容をお伝えすることは可能かと思うが、この調査期間までにというのは難しい。志田小学校だと7月1日が授業参観。

◆島田部会長(西中)

○期日を伸ばしていただくと、皆さんからの説明が可能という意見だと思うが、事務局どうか。

⇒そのように皆さんにお話しいただきたいと思うところだが、まずは暫定の停留所・ルートのなかで実数、そして特別な事情というところを把握したいと考えている。部会員皆さんからの説明は折に触れてということをお願いしたい。

○それでは通学調査票については皆さんよろしいか。

(部会員了解)

⇒それでは、本日の協議結果を踏まえ、修正した形で通学調査を実施させていただく。

(3)「スケジュールの確認」について

【事務局説明概要】

- ・今後、停留所として使わせていただけるか、実際にバスが走れるか、停留所やルートが法的に問題ないかなど、地権者、バス会社、警察等に確認が必要。
- ・通学調査の結果やそれを踏まえた最終的な停留所・ルートについては、部会でお示しする。
- ・予算措置のスケジュールから部会として7月20日までに確定いただくよう考えている。

【協議状況】（○：部会員，⇒：事務局）

◆島田部会長(西中)

○事務局の説明に対して質問等あればお願いしたい。

(質疑なし)

○本日いろいろな決定を行った。多くのご意見をいただいたことに感謝する。

6 その他

特になし

7 閉会